



2021年7月20日 キリスト教センター通信 リレーメッセージ 第40号

## 「神様に楯突いて？」

チャプレン トマス 河村博之

「しかし、主はわたしに言われた。「若者にすぎないと言ってはならない。わたしがあなたを、だれのところへ遣わそうとも、行ってわたしが命じることをすべて語れ。彼らを恐れるな。わたしがあなたと共にいて必ず救い出す」と主は言われた。」(エレミヤ書1:7-8)

皆さん、こんにちは。前期が間もなく終了しますが、いかがお過ごしでしょうか。4月の半ばに緊急事態宣言発令で、全面オンラインでの授業、クラブ活動の自粛、行事の中止・延期、せっかくの学生生活がコロナで台無し、と思われた方が多いのではないのでしょうか。

冒頭の聖書の言葉は、エレミヤ書という旧約聖書の一節です。預言者として神様から立てられたエレミヤは、神様に、わたしはただの若者にすぎないので、出来ませんと言って抵抗します。経験がない、初めてのことで、不安で仕方ない…。怯え、おそれを抱くのは当然のことでしょう。しかも相手が手ごわい立場であれば、なおさらのことです。逃げ出してもおかしくありません。そこで、主なる神様が言われたのです。「若者にすぎないと言ってはならない。」恐れるな・怯えるな、ただわたしが共にいるのだから。お墨付きをいただいて、さあ、頑張ろう！とはならないのが、わたしたちの現実ですね。エレミヤも預言者という役割を与えられました。しかし、いつまでも神様にクズクズ不平を言いますが、最後は根負けして、役割を果たしていくのです。

このように聖書に出てくる人物は、そのほとんどが神様に感謝してというよりも、神様に楯突いた後に、役割を果たしていった人々の方が多いと思います。皆さんはどうですか？

これからの学生生活のうえに、主の祝福が豊かにありますよう、お祈りしています。

### 一口メモ 預言者と予言者

「預言者」は、神様からいただいた言葉を人々に伝える役目をもった人のことです。一方、「予言者」とは、自分で未来を予測して、人びとに伝える役目をもった人のことです。聖書では、前者です。教会の牧師さん・チャプレンも前者です。では、お天気のお姉さんは？ みなさんはどちらに親しみを感じますか？

(画像左：モーセの十戒石板風)



- 新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り -

※ みなさんもお時間のあるときにお祈り下さい



神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまの、み心にかなった正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。このお祈りを、主イエスさまの、み名によってお捧げいたします。 アーメン

病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲しみの中にある人のために献げる祈りをお聞きください。どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒やしてください。また、医師と看護する者とを助け導き、その働きを支えてください。そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私たちの心も神さま、あなたが愛によってお救いください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離なれて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支えください。また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。 アーメン